

安全データシート
(SDS)

作成日 : 2026年4月21日

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	ターピー 雪下ろし促進シート
供給者の会社名	萩原工業株式会社
本社住所	〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
工場住所	〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
問い合わせ先	合成樹脂事業部門 事業推進部 産業資材品質保証課
電話番号	086(444)1233 FAX番号 : 086-440-0818
推奨用途及び使用上の制限	産業用資材
整理番号	TL2604211P

2. 危険有害性の要約

GHS分類	本製品は、GHS分類における危険有害性区分に該当しない
GHSラベル要素	
絵表示またはシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	
安全対策	通常の取扱い条件下では特に危険性は無い。 発火を防ぐために、火花、裸火等の着火源からは遠ざけること。 加工により粉砕や加熱溶融等を行う場合、保護手袋、保護衣、保護眼鏡等を着用すること。 休憩前や就業後は手を念入りに洗うこと。
応急処置	通常の取扱い条件下では特になし。但し、加工により粉砕や加熱溶融等を行う場合、以下の処置を行う。 皮膚に付着した場合：石鹼など低刺激の洗剤を使い、水で洗浄する。 目に入った場合：直ちにゆるやかな流水で取り除かれるまで洗浄する。 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受ける。 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。
保管	直射日光を避けて涼しい場所に梱包状態で保管する。
廃棄	海洋生物や鳥類が摂取することを防止するために、いかなる海洋や水域にも投棄、放出してはならない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲 (wt%)	官報公示整理番号		CAS登録番号	安衛法政令番号	化管法管理番号
		化審法	安衛法			
ポリエチレン	84~86	6-1	-	9002-88-4	非該当	非該当
酸化カルシウム	1.1~1.3	1-189	-	1305-78-8	2-620	非該当
二酸化チタン	0.54~0.65	1-558, 5-5225	2-(3)-509	13463-67-7	2-623	非該当
その他	12~15	-	-	-	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合	: 製品形状がシート状であり、通常の取扱い条件下では特にないが、加工により粉砕や加熱溶融等を行う場合は以下の処置を行う。 加工時の粉塵や、溶融時の蒸気・ガスを吸入した場合。症状があれば、新鮮な空気のある場所へ移す。症状変化が現れた場合には、医師の診断を受ける。 被災者が呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向きにする。呼吸に関する症状が出た場合は直ちに医師の診断を受ける。 呼吸が止まっている場合又は呼吸が弱い場合は、衣服を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸(又は酸素吸入)を行う。身体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、直ちに医師の診断を受ける。
--------	--

皮膚に付着した場合	:	石鹼など低刺激の洗剤を使い、水で洗浄する。溶融物が付着した場合は、衣服の上から素早く大量の水をかけて十分に冷却する。皮膚に貼りついた物は無理に剥がさないで、直ちに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	:	直ちにゆるやかな流水で取り除かれるまで洗浄する。洗浄の際、可能ならば瞼を指でよく開いて眼球、瞼のすみずみまで水が行き渡るよう洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合には、固着していない限り、取り除いて目を洗浄する。眼に異常が残る場合は、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	:	水で口の中を洗浄し、コップ数杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の診断を受ける。被災者の意識のない場合には、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液、等。
使ってはならない消火剤	冷却の目的で霧状水は使用しても良いが、消火に棒状水は使用してはならない。
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには一酸化炭素が含まれる。火災によって刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生する恐れがある。
特有の消火方法	指定の消火剤を用いて消火する。火災場所の周辺には、関係者以外の立ち入りを規制する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク、空気呼吸器)を使用する。風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	通常の取扱い条件下では、特に注意事項はないが、加工時における溶融物質から発生するガスは、眼や呼吸器を刺激する恐れがある。その場合、作業者は適切な保護具(「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	長期間分解しないため環境汚染の原因となるが、ポリマーの水溶性は無視できるので、水生生物への毒性は弱いと思われる。但し、海洋生物や鳥類が摂取することを防止するために、いかなる海洋や水域にも投棄、放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	飛散しないように集めて空容器などに回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	通常の取扱い条件下では特に注意事項はないが、加工により粉砕や加熱溶融等を行う場合、「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	通常の取扱い条件下では特別な換気設備は不要だが、加工時に粉塵や加熱による蒸気が発生する場合は、局所排気装置を使用する。 使用直前まで開封しない。全量使用までに期間がある場合は再度梱包すること。 着火元・高温な熱源の側に保管しない。保管場所周辺は火気厳禁とする。
接触回避 衛生対策	通常の取扱い条件下では特になし。 休憩前や就業後は手を念入りに洗うこと。必要であればシャワーを浴びる。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避けて涼しい場所に保管する。 梱包状態で保管する。円筒形状なので、不意の移動防止のためにストッパー等を使用する。
安全な容器包装材料	納品時の梱包材か同等品を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	通常の取扱い条件下では、特別な換気設備は不要。 加工時に粉塵や加熱による蒸気が発生するような取扱いの場合は、局所排気装置を使用する。加工場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設けることが望ましい。
管理濃度	設定なし
許容濃度	設定なし 但し、加工時に粉塵が発生する場合には、下記に記した勧告値を基準に採用するのが望ましい。

日本産業衛生学会(2025)	時間荷重平均値(TWA)	
	吸入性粉塵	総粉塵
第3種粉塵として	2mg/m ³	8mg/m ³
酸化カルシウムとして	-	-
二酸化チタン	1.5mg/m ³	2mg/m ³

ACGIH勧告値	時間荷重平均値(TWA)	
一般粉塵(PNOS)としての許容濃度	Respirable: 3mg/m ³	Inhalable: 10mg/m ³
二酸化チタン	TWA: 10mg/m ³	STEL: -

保護具	製品形状がシート状の為、通常の取扱い条件下では呼吸器・目・皮膚への付着を防止する保護具は必要ないが、加工により粉碎や加熱溶融等を行う場合は以下の処置を行う。
呼吸用保護具	粉塵や、溶融時に蒸気が発生する場合は防塵マスク
手の保護具	保護手袋
目、顔面の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服(長袖作業衣)、保護靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

製品の物理的及び化学的性質

物理的外観

形状	固体(ロール状シート製品)
色	NATURAL/IVORY
臭い・臭いの閾値	ほとんど無臭
pH	製品としての情報なし
融点・凝固点	100～135℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	340℃前後
自然発火点	製品としての情報なし
可燃限界	製品としての情報なし
蒸気圧	製品としての情報なし
爆発下限界及び爆発上限界	製品としての情報なし
密度及び/又は相対密度	製品としての情報なし
可燃性	製品としての情報なし
相対ガス密度	製品としての情報なし
溶解度	製品としての情報なし
n-オクタノール/水分係数(log値)	製品としての情報なし
粒子特性	製品としての情報なし
分解温度	製品としての情報なし
動粘性率	製品としての情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	通常の取り扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	直射日光、水濡れ、急激な温度変化。
混触危険物質	特に無し。
危険有害な分解生成物	加工時等の高温下において、一酸化炭素、二酸化炭素の他、炭化水素及びその酸化物を生成する恐れがある。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報 製品としての情報なし。以下は含有成分に基づく情報である。

成分の有害性情報 - 1

成分	急性毒性 経口 mg/kg	急性毒性 経皮 mg/kg	急性毒性 吸入 ppmV	皮膚腐食性及 び皮膚刺激性	眼に対する重 篤な損傷・眼刺 激性	呼吸器感作性・ 皮膚感作性
ポリエチレン	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
酸化カルシウム	区分外	分類対象外	分類対象外	区分2	区分1	分類できない
二酸化チタン	区分外	分類できない	分類できない	区分外	区分外	分類できない

成分の有害性情報 - 2

成分	生殖細胞変異 原性	発がん性	生殖毒性 授乳影響	特定標的臓器 毒性(単回ばく 露)	特定標的臓器 毒性(反復ばく 露)	誤えん有害性
ポリエチレン	情報なし	区分3 (IARC グ ループ3)	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
酸化カルシウム	分類できない	分類できない	分類できない	区分1	区分1	分類できない

二酸化チタン	分類できない	区分2 (IARC グループ2B)	分類できない	分類できない	区分1 (呼吸器)	分類できない
--------	--------	-------------------	--------	--------	-----------	--------

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報

製品としての情報なし。以下は含有成分に基づく情報である。

成分の環境影響情報

成分	水生環境有害性(短期/急性)	水生環境有害性(長期/慢性)	残留性・分解性	生体蓄積性	土壌中の移動性	オゾン層への有害性
ポリエチレン	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
酸化カルシウム	区分外	区分外	区分外	区分外	区分外	モントリオール議定書の附属書には含まれない
二酸化チタン	分類できない	分類できない	情報なし	情報なし	情報なし	分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
廃プラスチックとして「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、焼却又は埋め立てによって処理する。焼却する時は、焼却設備を用いて大気汚染防止法に適合した処理を施し焼却する。また、地方自治体の規制がある場合はそれに従う。

汚染容器及び包装

関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類

国連勧告の定義による危険物に該当しない

国連番号

該当しない

国連輸送品名

該当しない

副次危険

該当しない

国連容器等級

該当しない

海洋汚染物質

該当しない

IBCコードによるばら積み

該当しない

国内規制

陸上規制情報

消防法、道路法に従う。

海上規制情報

船舶安全法に従う。

海洋汚染物質

該当しない

航空規制情報

航空法に従う。

緊急時応急措置指針番号

該当しない

輸送又は輸送手段に関する

輸送に際しては、梱包材の破損、腐食、漏れの無い様に積み込み、荷崩れの防止を確実にする。

特別の安全対策

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(57条2項)

消防法

合成樹脂類 (3,000kg以上の場合は指定可燃物)

廃棄

廃棄物処理及び清掃に関する法律

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

その他、用途による規制有り。(例)食品包装材:食品衛生法、医薬品用容器:薬事法

16. その他情報

参考資料

JIS Z 7252:2019「GHSに基づく化学品の分類方法」

JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」

原材料のSDS

日本産業衛生学会(2025)許容濃度の勧告

ACGIH

IARC

お問い合わせ先

「1.製品及び会社情報」に記載の連絡先にお問い合わせください。

本「安全データシート」は、JIS Z 7253:2025に準拠し、作成時における入手可能な資料、情報、データに基づき作成を行っておりますが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、内容は新しい知見に基づき改訂されることがあります。

本品の取り扱い、通常の取り扱いを対象としたものです。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。

需要家の皆様の使用条件は弊社の管轄外の事項となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

尚、本シートは情報を提示するものであり、安全や品質を保証するものではありません。